

My Stars 通信

No.43

June 2016

マイスターズ登録者の皆様いかがお過ごしでしょうか。『MyStars通信』43号ができましたのでお送りします。2016年4月末現在の登録者数は9422名です。



みさき台公園から見る星空（キャンプ場から撮影）

初山別村の豊岬地区にある『みさき台公園』は、初山別村で一番大きな公園です。面積は約2万平方メートル（札幌ドーム3.5個分）の広さがあります。ここには宿泊施設、温泉、キャンプ場、ゴーカート、パークゴルフ場、天文台などがあります。夏は、昼間は海水浴場やパークゴルフで一運動し、温泉につかって汗を流したら、夜は天文台で星空を堪能しましょう。公園内には外灯がありますが、それでも建物の陰に行けば天の川を見ることができます。温泉の露天風呂から見る夕日と利尻富士もまた格別です。他にも海岸にある金比羅神社で、夕日をバックに大鳥居を見たり、星空をバックにながめるのも良いでしょう。

綺羅星・星座ガイド

◎おおいぬ座

おおいぬ座は冬の星座の一つで、オリオン座の南東に位置します。ギリシャ神話では猟師オリオンの猟犬とされています。古代エジプトではシリウスが夕方東の空に見えるころ、ナイル川が氾濫すると言うことで、大変重要な星とされていました。

おおいぬ座を有名にしているのは全天一明るいシリウス（-1.5等）の存在でしょう。オリオン座のベテルギウス、こいぬ座のプロキオンと共に“冬の大三角”を作っています。シリウスが明るいのは特別な星と言うわけではなく、距離が8.6光年と近いためなのです。実際の大きさは太陽の2倍ほどで、白く輝いています（太陽は黄色）が、白い星は燃料の消費が激しく30億年以内（太陽は100億年）に短命が終わります。

シリウスには8.4等の小さな星（伴星）が回っています。大きさは地球の2倍ほどしか



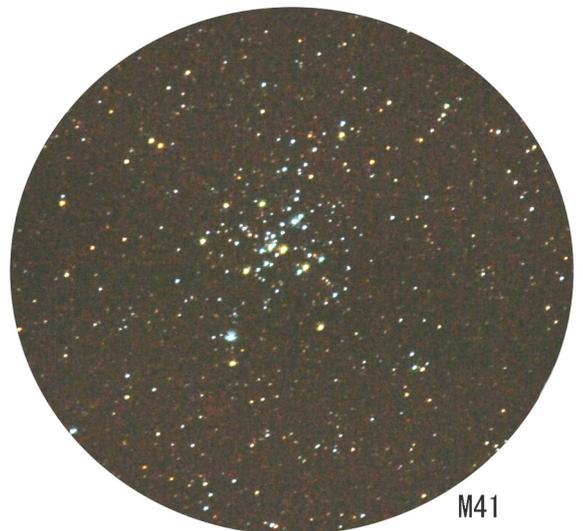
ないので、大きなシリウスを振り回すほどの力持ちです。この伴星は白色矮星（はくしょくわいせい）という、大変高密度の星です。

白色矮星は太陽程度の星が新星爆発することで作られます。新星爆発は表層のガスをはき出しますが、中心分は小さく押しつぶされ圧縮されていきます。そのため比重が非常に大きく、1立方センチ（角砂糖1個分の大きさ）の重さが数100kgから数10トンにもなります。太陽も将来、新星爆発を起こして白

色矮星になると予想されています。

この伴星は望遠鏡で見えることはできますが、シリウスが明るすぎるので見るのはむずかしいです。シリウスを視野の外に出したり、何かで覆い隠したりして見ている人もいます。

シリウスの真っ直ぐ下にM41と言う星団があります。肉眼ではモヤモヤしたかたまりに見えますが、双眼鏡や



望遠鏡では星の集団がわかります。満月ほどの範囲におよそ100個の星がありますが、倍率を低めにした方が星団らしい姿が楽しめます。

◎いるか座

いるか座はわし座の隣にある小さな星座ですが、ギリシャ神話では、詩人アリオンがシチリア島の音楽コンクールで優勝し、故郷に帰る途中、賞金に目がくらんだ船員に殺されそうになり、自ら海に身を投じたところを助けたイルカとされています。



星の並びは、菱形と南に少し離れた星を合わせてラ

ケットのように見えます。明るい星はありませんが、この菱形は結構目立ち、イルカの姿を想像するのはそれほどむずかしくないでしょう。

いるか座で一番明るい星は3.6等のベータ星ロタネブで、2番目が3.8等星のアルファ星スワロキンです。普通星の名前はその星座にちなんで付けられます。しかし、この二つの星の意味がずっとなぞでした。いろいろ調べてみてついになぞが解けました。1814年にパレルモ天文台台長のピアッツィが、助手のニコラウス・ベナトルの綴りを逆から読んだものだったのです。とんだお騒がせでした。

菱形の先（イルカの頭）のところにあるガンマ星は、オレンジ色の4.3等星と淡い黄色の5.1等星が並ぶ二重星で、小型の望遠鏡でも見ることが出来ます。



◎やまねこ座

1687年にヘヴェリウスが作った星座で、新しい星座なので神話はありません。

おおぐま座とぎょしゃ座の間にありますが、明るい星がなく星座の並びを見つけ出すのは難しい。ヘヴェリウス自身“この星座を見るためには山猫のような鋭い目が必要だ”と言っています。やまねこ座の北側半分は年中沈みません。

一番明るい星は後ろ足のところにあるアルファ星ですが、明るいと言っても3.1等星です。他は4等星以下の暗い星ばかりです。市街地では見るのがむずかしいでしょう。

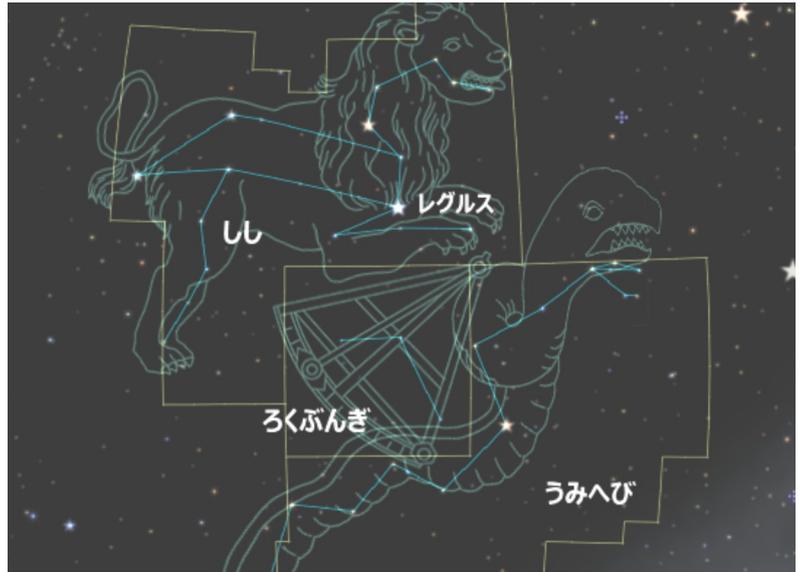


◎ろくぶんぎ座

1687年にヘヴェリウスによって作られた星座で、神話はありません。1679年、ヘヴェリウスの家が火事に遭い、書物も観測機器も全て焼けてしまいました。この時焼けてしまった六分儀を星座にしたということです。

六分儀というのは角度を測る観測機器で、高精度の分度器を想像すると良いでしょう。似たように機器に四分儀と八分儀があります。

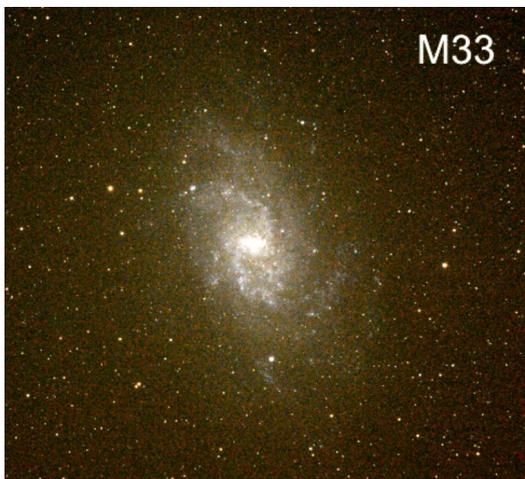
ろくぶんぎ座はしし座とうみへび座の間にある星座で、一番明るい星は4.5等星のアルファ星です。星座の面積が小さい上、天の川から離れているので星の数が少なく、6.0等より明るい星は17個です。これと言った注目に値する星もなく寂しい星座です。何もないと寂しいので一つ、しし座との境界付近に35番星という二重星があります。5.8等星と暗いので見つけるのもむずかしい星ですが、5.8等星のそばに7等星が寄り添っている姿は、小型の望遠鏡でも見ることが出来ます。



◎さんかく座

さんかく座は、アンドロメダ座とペルセウス座、おひつじ座、うお座の間にある小さな星座で、トレミーの48星座の中の一つです。特に神話はありませんが、ナイル川の三角州を表しているとも伝えられています。

3等星と4等星がつくる細長い三角形で、特に注目されるような星はあり



ませんが、M33という銀河の存在があります。銀河は星の大集団で、全体がゆっくり回転しているため渦巻き状に見えます。そのため“渦巻き星雲”とも呼ばれますが、銀河系の外にあって銀河系とは別の天体です。

M33はM31（アンドロメダ銀河）と同様に距離が近く、わずか250万光年しか離れていません。銀河系やM31やM33等のような近距離にある銀河を“局部銀河群”といい、

約50個ほどが確認されています。M33は見かけの大きさが満月の2倍ほどありますが、淡いので望遠鏡よりやや大きめの双眼鏡の方が見やすいかもしれません。

綺羅星列伝

今回は1遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしくお祈いします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前： **KAHO moon POKO**

私は星や月、夜空に輝くものが好きです。

そんな私は二十歳の記念に星に名前を付けました。My Stars systemの登録をしました。とてもうれしくて、大好きな星、この沢山の星の中に自分の星があると思うと。

そんな私にも彼氏ができました。

とても優しく、いつも大きくて広い心で私を見守り、そばにいてくれて私の力になってくれました。彼は歳下の19歳とは思えないくらいしっかりしています。

彼が19歳で私が21歳のこの一年は本当にいろいろありました。私の持病で足の手術をしないといけなくなったのですが、過去にも手術をしており、どんだけ辛いかわっているからこそ踏み込めないでいた自分がいました。

そんな時傍に居て、くずれそうな私の心を支えてくれていたのが彼でした。何度も彼に不安をぶつけて、泣いて沢山迷惑をかけました。

入院の一ヶ月前ぐらいからはほぼ毎日彼の家で生活していました。少しでも長く一緒に居たいという2人の気持ちが知らず知らずにそうしていたんだと思います。

手術も成功して今は少しずつ元気を取り戻し、少しずつ一人でできることも増えてきました。辛かったし、痛かったし、入院中バラバラの生活を送っている間はすごくさみしかったけど、より彼のことを好きになり、大切にしたいと思いました。

何より何気ない日常にとても感謝しました。それは普通に歩いたりすることもそうですけど、彼との日常にもです。一緒に居てるのが当たり前になりつつあった時の手術だったので、少しはなれてみて、ささいな日常が愛しくなり、宝物だと思いました。そして私は本当に愛されているな、私も本当に彼が大切です。

彼の寝息が聞こえるくらい近くで一緒に寝る夜も、キスした後照れくさそうに下を向いて笑う仕草も、細いのに抱きしめられた時の力強さも、何より一緒に居て笑ってる時間が大切な私の宝物です。

そんな彼もめでたく二十歳になりました。プレゼントは悩まずに決めました。私も二十歳の時に登録したMy Stars systemにしようと。

彼も星や月や宇宙が好きなんです。そういう所も話が合うなーと付き合う前から思っていました。そして私が彼に告白されたのも力強く輝くキレイなキレイな月の下でした。私は今でもあの星空が忘れられません。

いつか2人でしょさんべつ天文台に行き、この目で自分の星を見て、普段言えないことを話できたらいいな。

**裕くん、これからもよろしくね
あなたは私にとって大切な存在です。**

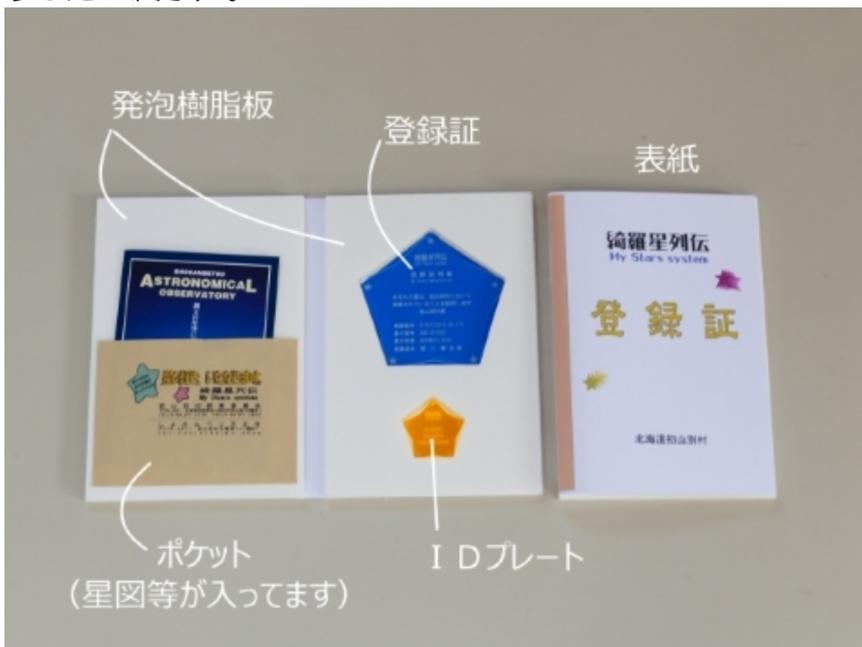
■My Stars systemが変わりました ★★★★★★★★★★★

1995年に始めたマイスターズシステムですが、開始から早くも20年が過ぎました。そこでこれを節目に内容を刷新し、新しい登録セットをつくることにしました。これまではIDプレートを外部委託していたため、発送まで3週間ほどいただいていた。この日数を短くするべく検討の結果、全て自主製作することになりました。

- 登録証 CDからオリジナルの亚克力プレートに変更（直径約12cmの星形）
- IDプレート ステンレス製から亚克力に変更（直径約5cmの星形）
- 星 図 概略図（白黒）を少し変更。詳細星図（カラー）をA4に変更、図と文字が少し大きく見やすくなりました。
- ケース 段ボールにて送付していましたが、B5のブック型に、封筒で送付します。
- 料 金 コストダウンの結果一式3,000円で製作可能になりました。

この新システムは5月1日受付分から開始しました。5月1日以前に登録されている方で、新しい登録セットをご希望の方は、天文台または教育委員会までお問い合わせ下さい。

なお、従来の登録証（CD）がいいという方には、CDで作製します（5,000円。在庫がなくなりしだい終了）。



登録セット

- 表紙は厚手の紙です
 - 中の仕切りは発泡樹脂板で、登録証とIDプレートの収納場所は切り抜きになっています。
- 登録証は透明亚克力ですが、文字が見やすくなるように青い紙を敷いてあります



IDプレート

一見半透明な色つきの亚克力プレートですが、ブラックライトを当てると光り輝きます。普通のライトでは光りません。

こちら情報室

○天文情報（6月～11月）

流星・彗星

●ペルセウス座流星群（7/20～8/20）

毎年たくさんの流星が見られる“三大流星群”の一つで、今年の極大は8月12日で、ほぼ一晩中見られます。上弦過ぎの月はありますが、夜中には沈みますからその後明け方までは最良の条件です。極大を含む1週間くらいは多くの流星が見られます。

●オリオン座流星群（10/10～11/5）

ハレー彗星に伴う流星群で、極大は10月21日です。下弦前の月明かりが多少じゃまになります。夜中から明け方が見やすいです。

●おうし座流星群（10/15～11/30）

エンケ彗星に伴う流星群で、南群と北群からなります。南群は11月6日ごろ、北群は11月13日ごろ極大になります。今年は上弦から満月にかかりますが、南群は見やすいでしょう。

●しし座流星群（11/5～11/25）

母天体のテンペル-タットル彗星は今ごろが一番遠い位置にあります。今年の極大は11月17日の夕方であり、満月過ぎの月が明るく多くは期待できないでしょう。

◎彗星

今のところ肉眼で見えるほど明るくなる彗星はありません。ニュースに注意しましょう。

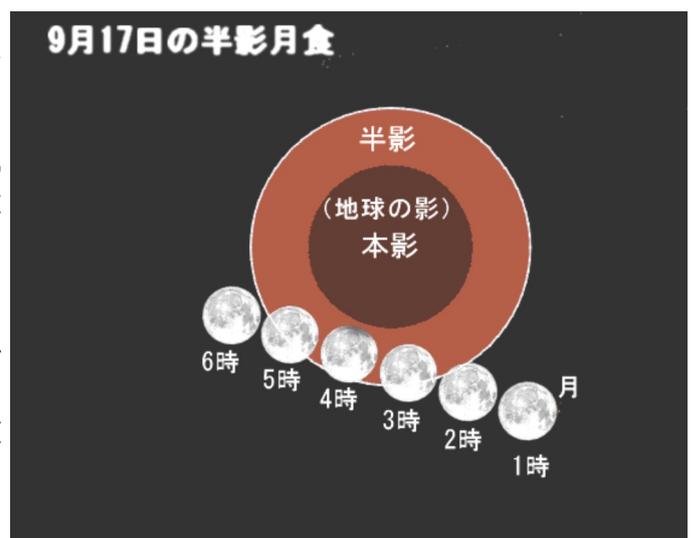


日食・月食・星食

●アルデバラン食：今年の後半は3回見られます。7月2日14時前後は月が細く見つけにくい。9月22日は夜明け前後に北海道北部をのぞく各地で、11月16日0時前後は満月過ぎの月ですが全国で見られます。

●半影月食：9月17日の未明に深い半影月食が見られます。月は地球の影の南側を通りますが、本影からわずかにはずれるため部分月食にはなりません。

●海王星食：8月19日の夕方、四国・中国地方以北で見られます。ただし、高度が低くあまり良い条件ではありません。なお、海王星の見かけの大きさは月の850分の1しかありません。



惑星

●水星：6月5日と9月29日は明け方の東空で、8月17日は夕方の西空で最大離隔となり見やすくなります。

●金星：6月7日に太陽の向こう側（外合）になり、8月ごろから夕方の西空低く目立つようになります。

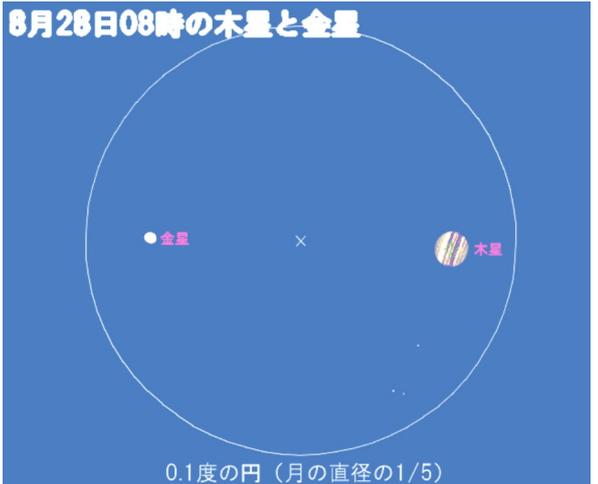
●火星：5月31日にさそり座で、2年ぶりに地球に最接近し、8月ころまで見やすいです。その後徐々に遠ざかり、9月以降は小さく観測の対象には成りにくいでしょう。

●木星：8月まで見えますが、9月27日に太陽の向こう側（合）になり、以後明け方の東空に変わります。

●土星：6月3日にへびつかい座で地球に接近し10月まで見られます。環の傾きも大きくなり小型の望遠鏡でもよく見えます。

●天王星：10月16日にうお座で地球に接近（衝）します。

●海王星：9月3日にみずがめ座で地球に接近（衝）します。



■その他の天文現象

- ・7月までは木星、火星、土星が見やすいです。
- ・8月24日土星、火星、アンタレスが並びます。
- ・8月28日木星と金星が大接近します。
- ・10月30日の夕方の低空で金星と土星が接近します。
- ・11月2日は金星、土星に月も加わりにごわいます。
- ・11月14日は大きな満月のスーパームーンです。

[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mailどちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「My Stars通信」の送付について、登録番号9420までの方は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方、すでに郵送希望のお申し出をいただいている方につきましては、今後とも郵送することで考えておりますので、希望者にはご一報いただきたくお願いします。

~~~~~

[編集後記]

クリスマスイブまではほとんど雪がなく、『あたたかい冬だなぁ』と思っていましたが、翌日のクリスマスの朝は雪が積もって一面真っ白、1月中旬まで断続的に降り続けました。2月になり猛吹雪の日が何度もあり、国道の通行止めにもなりました。4月に入って熊本県と大分県で大きな地震がありました。大きな揺れが断続的に繰り返され、多くの建物、道路、橋が壊れ、大きな山崩れが起こったりして多くの方が被災されました。お亡くなりになった方、家や生活の基盤を失った方々にはご冥福とお見舞申し上げます。

|           |           |                                                                                                       |
|-----------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 編集・発行     | しょさんべつ天文台 | 〒078-4431 北海道苫前郡初山別村字豊岬153-7                                                                          |
| 天文台ホームページ | URL=      | <a href="http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/">http://www.vill.shosanbetsu.lg.jp/shtenmon/</a> |
| E-Mail    | 教育委員会     | kyoui.syakyou@vill.shosanbetsu.lg.jp                                                                  |
|           | しょさんべつ天文台 | tenmon@aurens.or.jp                                                                                   |